

美川小学校便り NO1 1

美川っ子

R 4 . 3 . 2 3 文責 大達高弘

子どもたちの成長を促したもの

校庭の桜の木も、一輪、二輪と美しい花を咲かせ始めました。美しい花が満開になるのも、そう遠くはないでしょう。季節は確実に巡り、春はすぐそこまで来ています。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症への様々な対応を余儀なくされた令和3年度も、明日の修了式とともに幕を下ろします。多くの制約や制限のある中での学校生活でしたが、保護者の皆様、そして地域の皆様の温かいご支援、ご協力のおかげで、無事、明日の修了式を迎えることができます。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

3月19（土）、令和3年度の卒業証書授与式を挙行了しました。9名の卒業生が保護者の皆様、在校生に見送られ、美川小学校を巣立っていきました。4月から始まる中学校という新しい世界で、思いきり自分らしく活躍してくれることを願っています。

そして明日、3月24日（木）、それぞれの学年の教育課程を修了した証として修了証を渡します。本当にいろいろなことがあった1年でしたが、77名の美川っ子一人一人、しっかりと成長しました。日々の成長はなかなか気づきにくいものですが、子どもたちのふとした言動やしぐさに成長を感じるがあると思います。今年度の終わりにあたり、どうぞしっかりと子どもたちをほめていただき、可能性の芽をさらに伸ばしていただきたいと思います。

可能性の【芽】と書きましたが、子どもはだれもが、伸びる【芽】をもっています。しかし、その【芽】は私たち大人が伸ばそうとしても伸びるものではないと思います。「伸びよう」「伸びたい」という子ども自身の意思がなければ、その【芽】は眠ったままです。その【芽】は、子どもがその気になることで芽生え、やる気を沸き立たせ、夢中になって取り組むことで、たくましく、しなやかに、そして大きく伸びていくのだと思います。そこで大切になるのが、子どもたちを温かく見守り続け、時に優しく手を差し伸べ、時にそっと背中を押し、機に応じて熱く諭す大人の存在だと考えます。それはまるで、植物に降り注ぐ温かな日差しのように…。この1年間で、美川っ子77名が大きく成長できたのも、家庭、地域、学校の三者がともに手を携え、たくさんの愛情を注いだからこそだと思うのです。まさに、合言葉【み・か・わ ～みんなが かがやく わたしたちの学校～】だったと感じています。

★入学式での不安そうな様子はどこへ？ たくさんの経験を通して、多様な個性が輝き始めた1年生。

★暑い夏も、寒い冬も花や植物への水やりを欠かさない！！ 何事にも真摯に向き合う姿が素敵だった2年生。

★教室の入口でいつも出迎えてしてくれる元気な挨拶は全校で一番！！ 健やかな育ちを見せた3年生。

★タブレット端末を使いこなす技能は大人顔負け！！ 高学年としてのさらなる成長が今から楽しみな4年生。

★自ら学びに向かう姿勢は間違いなく全校で一番！！ 最上級生としての活躍が大いに期待できる5年生。

★最上級生としての在り方をその言動で示し、コロナ禍の困難な状況も知恵と協力で乗り越えた！！ 素晴らしいリーダーとして美川小学校を引っ張ってくれた6年生。

この1年間、美川小学校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただいた多くの方々に心より感謝いたします。来る令和4年度も【み・か・わ】のために、変わらぬご支援をお願いいたします。

写真で振り返る「美川っ子の3学期」

市内小中学校一斉臨時休業もあり、例年以上に短い3学期でしたが、77名の美川っ子はいつも元気で、前向きに頑張りました。そして、3学期の合言葉【実行力】をしっかりと身につけました。



1年生：なわとび集会



2年生：バースデープロジェクト



3年生：扇原茶園見学



4年生：野鳥の巣箱設置



5年生：間伐体験



6年生：卒業記念奉仕活動



校内書初め会：筆に心を込めて



鼓笛引継ぎ式：伝統のパトンをつなぐ



6年生を送る会：感謝の気持ちを伝え合う



児童総会：思いを託す

6年生の未来に幸あれ！！



卒業式を間近に控えた6年生教室に9枚の色紙が並んでいました。これは、これからの中学校生活、そして将来に向けた自分の決意や抱負を漢字1文字で表したものでした。新しい世界へと歩みを進めようとする9人それぞれの思いが表れたとても素敵なものでした。ご紹介します。

さん【炎】

中学生になっても心の炎を消さないように過ごす。

さん【美】

将来は浜田で店を構えて、地元の人が喜ぶ顔が見たい。美容師になって、家族の髪の毛を切ってあげたい。

さん【夢】

この先の未来の夢に向かって頑張りたい。

さん【行】

中学校という新しい世界へ、力強く進んで行きたい。

さん【優】

自分が感じている「幸せ」などの感情を守れる人になりたい。

さん【空】

空は青色、信号機の青は進めの意味。辛くて苦しいことがあっても、空を見て前に進みたい。

さん【全】

全てのことに全力で取り組みたい。

さん【球】

これからもしっかりと「野球」を頑張りたい。

さん【優】

中学校に行っても友達と仲良く、優しく接したい。



♪ 飛び立とう 未来信じて
はずむ 若い力 信じて
この広い この広い 大空に ♪

コロナ禍だからこそできた経験

【鼓笛引継ぎ式】

コロナウイルス感染拡大防止のため、音楽の時間の歌唱指導や管楽器の演奏などの自粛が求められました。それに合わせ、新鼓笛隊編成にかかわる練習もできなかったため、



実際の演奏なしでの鼓笛引継ぎ式になりました。ですが、6年生代表が熱い思いとともに5年生代表に指揮杖を手渡し、その姿を全校のみんなが見守りました。指揮杖を手渡すだけですが、そのことにとっても大きな意味があるのです。しんと静まり返った体育館の中で、向かい合った2人が伝統の指揮杖をしっかりとつなぎました。とても感動的な瞬間でした。

【6年生を送る会】

6年生を送る会はリモートで行いました。各学級の出し物等は学級ごとに事前に動画を撮影し、当日はそれを各学級で視聴しました。それ以外のプログラムについては、放送室をスタジオにし、そこに設置したタブレット端末を5年生が



操作しながら、各学級へ音声や映像を配信しました。6年生学級には各学年が作ってくれた感謝の掲示物が貼られていました。各学年が時間をかけ、準備をし、一生懸命に発表してくれた出し物の動画を、笑いながら、そっと目元をぬぐいながら嬉しそうに視聴している6年生の姿が印象的でした。体育館に一堂に会することはできませんでしたが、校舎中にお互いへの感謝の気持ちが溢れる、とても素敵で、まったく新しい6年生を送る会でした。この会を成功させてくれた5年生の企画力・実行力に脱帽でした。

ご紹介した2つの活動以外にも、なわとび集会や児童総会なども、例年とは形を変えて実施しました。これまで通りではなく、新しいものを創造しました。この経験は、コロナ禍だからこそできた経験だと思います。新たなものを創造するという挑戦は、子どもたちにとって、知恵を出すこと、仲間と協力することの大切さを改めて学ぶことができる貴重な場になりました。

令和4年度 4月の主な行事

8日(金) 着任式・1学期始業式(12:00下校)

11日(月) 入学式(12:00下校)

12日(火) 給食開始

15日(金) 1年生を迎える会

18日(月) PTA事業部会・運営委員会(18:30~)

19日(火) 全国学力・学習状況調査(6年生)

23日(土) 授業公開日 評議員会 PTA総会

26日(火)・27日(水) 家庭訪問

